

ぬまづ憲法9条の会

142号

事務局
神田健夫
921-7755

**核兵器をもてあそぶ
「戦争を食べる」
こんな日米外交は許せません**

72年前、アメリカ軍はヒロシマ、ナガサキに高度9千〜1万mの上空から原爆(Atomic Bomb)を投下した。

ピカ(爆心地)、ピカドン(その外周)と被爆者が呼んだ、熱線、爆風、放射線などにより、瞬時におびたらしい人々が殺された。

「12周年のつどい」でアーサー・ビナードさんが、投下する側からすれば原爆、投下された側からすればピカ、ピカドンと語ったとお

りだ。無数のヒバクシャなどが営々と積み重ねた努力の上に、今年、核兵器禁止条約が国連で結ばれた。

核兵器廃絶こそ
北朝鮮が核兵器・大陸間

弾道弾の開発に狂奔している。許しがたいことだ。アメリカは世界最大の核戦力を保有している。これまた恐ろしい現実である。

戦争被爆国・日本の安倍首相は核兵器禁止条約に反対している。日本の道義は地に落ちた。

武力行使の容認

トランプ大統領との首脳会談で安倍首相は、「全ての選択肢がテーブルの上にある」との米大統領の立場を支持すると述べ、北朝鮮への武力行使を容認した。この発言をNHKは報じなかった。報じたのは晩餐会のメニューであり、政府説明と見まがうような解説であった。トランプ一色のテレビ報道は異常だ。

妻たちに「平和」と 書かせて武器売買

首脳会談で、トランプ大統領は「日本は膨大な兵器を追加で買うべきだ」と、兵器のセールスマンと化した。安倍首相は「イージス艦を米国からさらに購入する。ミサイル防衛システムも購入が予想される」と、トランプ大統領に尻尾を振った。

川柳 そして 詩

これらを北海道・島田礼子さんは、川柳に「妻たちに『平和』と書かせ武器売買」と詠んだ。(11月8日朝日川柳)

1932年生まれの詩人・浅尾忠男さんは、詩の末尾に
最後の晩餐会では
・松茸の茶碗蒸しと佐賀牛を食べる
・シンゾーと食べる
・戦争を食べる
と表現した。

「戦争を食べる」が胸を刺すとコラムニスト・早野

透さんは言う。(朝日新聞・新ポリティカにつぼん11月14日付より)
安倍9条改憲「めんどす

核兵器禁止条約を足蹴にし、首脳会談で武力行使戦争を容認し、武器売買をあげすけに語り合う。

これが、唯一の戦争被爆国、憲法9条を持つ日本の首相なのだ。改憲を遮二無二に実現しようとする安倍首相の実相なのだ。

安部9条改憲NOを、草の根の世論にするため、力を合わせよう。

ぬまづ憲法9条の会 11月5日12周年の集い

120名の参加、「とてもよかった」と好評でした。斉藤匠さんのフルート演奏は、「演奏前の解説がとても良かった。どれも美しく美しく聴けました。中でもハンガリー田園幻想曲は素晴らしく印象的、荒城の月も庄巻、伴奏もよかったです」などの感想が。

アーサー・ビナードさんの「言葉のおそろしさ、そして日本の未来」の話にも、「言葉の持つ内側、外側をよく考えないといけない」と再確認させられた。もう少し注意深く報道をみないといけないのだ」などの感想も。

「普段今日のような話を聞かない人々にどうしたら届くのか考えている。現実がリアルに感じられず、どこか他人事で、このまま行ってしまうのが怖い。こうした場をもっと沢山もって」などの意見が寄せられました。

改憲を断念させましょう

□沼津中央公園
12月17日(日)
13時30分 集会(小雨決行)
14時〜 スタンディング

スタンディング

□沼津駅南口・井上靖碑前
12月2日・9日・16日(土)
13時30分〜14時15分

映画「抗い」と 太刀洗さくら弾機事件

(その2)
元特攻隊員 杉田登さん
(西間門、版画家)に聞く

11月号に、元特攻兵・杉田登さん(西間門、版画家)にご登場いただいた。

映画「抗いあらがい」が描いた「さくら弾機炎上事件」のあった、福岡・太刀洗基地で特攻兵(機上機関士)として軍務についていた。

これをきっかけに幾度か杉田さんを訪れた。11月末には大変暖かい夕刻、改めてお話をうかがった。

陸軍特攻は？

— 陸軍特攻兵そのものをどう考えますか？

杉田さん — (あなたは、人間そのものを武器にする特攻というものは、とんでもなく非人間的で酷いものと言う)。そのとおりだ。私は、陸軍特別攻撃振武隊配属を命じられた。

志願と言うが、命令です。

朝鮮人特攻兵の処刑は？

(直径1.6メートル、重量2.9トンある超大型爆弾を搭載する) さくら弾機が、放火、炎上する事件を、昭和20年5月に太刀洗基地で体験しましたね。

杉田さん — 山本義雄伍長(創氏改名による日本名)は、朝鮮人なのに、特攻兵になった。その山本伍長が放火犯人とされ、死刑に処せられたのです。事実は違うと皆ウワサしていました。

9条改憲は？

— 最近、憲法改正、特に9条改憲の動きを、安倍自民党が急ピッチで強めていきます。これについては？

杉田さん 死んでいった同期のことを考えると、とんでもありません。戦争など絶対だめです。

自衛隊は謂わば、一つの軍隊です。でも今さら憲法に書き込む必要はありませんよ。

今年90歳になる杉田さん。その来し方は前号で触れた。版画家であり、年賀状の版下制作を始めたという。

杉田さんは、太刀洗さくら弾機事件について何度もインタビューを受けた、著者・林えいだいさんが今年9月に亡くなったことをしきりに残念がっておられた。

映画ホタルと永遠のゼロと

書籍「太刀洗さくら弾機事件」の副題は、朝鮮人特攻隊員処刑の闇である。

2001年に、映画「ホタル」(監督・隆旗康男、出演・高倉健、田中裕子)が制作、公開された。この作品は、「元特攻隊員夫婦」「朝鮮人特攻兵」をテーマに、「特攻」の真実に迫った。深い感動をよんだ。その後、小説・映画「永遠のゼロ」がヒットした。原作は、安倍首相の応援団、友人の百田尚樹氏による。この作品は、特攻を美しく描く。近年、こうした風潮が強まっている。歴史を

闇に美にしてはならない。

9条改正必要は57% 不要は25%

(NHK「放送研究と調査」より)

憲法をめぐる世論の変遷を、NHKが行った1974年、92年、2002年、2017年の調査を基に辿る。

憲法改正が必要は、92年の35%から02年の58%に増え不要を大きく上回った。しかし、2017年は必要が大幅に下がり、43%となった。

この間、96条(改正要件の緩和)、集団的自衛権行使の閣議決定、安保法制などがあり、世論が慎重な方向に動いたとみられるとする。

9条改正は必要が57%で、必要の25%を大きく上回り、憲法9条が日本の平和と安全に役に立っているという人も約8割に増えている。

憲法が社会に果たした役割を肯定的に考える人が増

える一方、優先課題に憲法改正を選ぶ人は6%に止まる。改憲の議論が深まっていないとする人は67%にのぼる。

モリカケご都合解散により、自公は3分の2を超え、改憲勢力は8割に及ぶ。北朝鮮暴走とその煽りの影響が大きい。

しかし、憲法をめぐる人々の意欲と関心が高まっているとはいえない。

人々の健全な意識に確信を持ち、対話を進めていきたい。

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

ぬまづ憲法9条の会・予定

□1月7日 成人式

各校区式場でリーフレット配布します。

ぬまづ憲法9条の会・総会

日時□1月21日

開会・13時30分

会場□労政会館 第3会議室

安倍9条改憲ストップさせる為の方針を話し合い、具体化します。どなたでも参加大歓迎です。